

# UAV(無人飛行機)で空からモニタリング

保管汚染土壌の空中放射線量と体積、および除染森林域の把握

中部大学 本多 潔  
東京大学 溝口 勝

RBRU ( Thailand ) Kumpee Teeravech  
メルボルン大学 Aadit Shrestha

## UAVとは？

自律的に飛行する小型の無人飛行機で、空から写真をとったり、センサーを搭載できる。手軽かつ機動的な観測が可能。地域の監視に有効。



固定翼UAV, 大面積を撮影

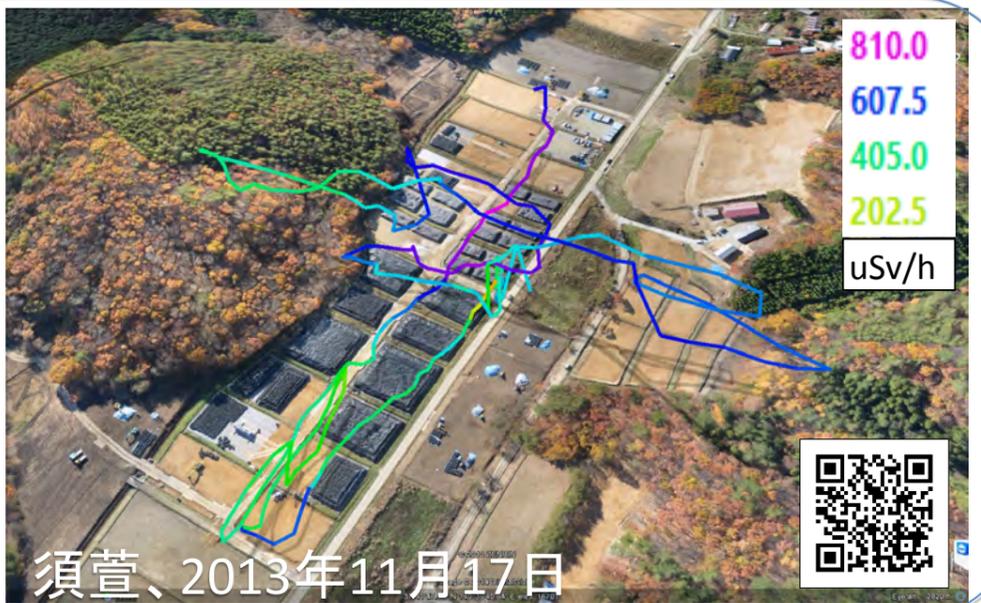


回転翼UAV, 線量計やカメラを搭載



## 汚染土壌置き場の空中放射線量は？

回転翼UAVに線量計を搭載して飛行、新しく運び込まれた土砂(図中右上)や表土が露出しているところが高い。



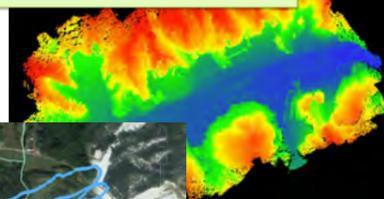
## 保管汚染土壌の量は？

固定翼UAVの画像で3D計測、2013年11月17日現在、30ピラミッド、合計23,100m<sup>3</sup>

詳細なレポートはここ->



3D(地表高計測)



体積計測



飛行コース



番号付与

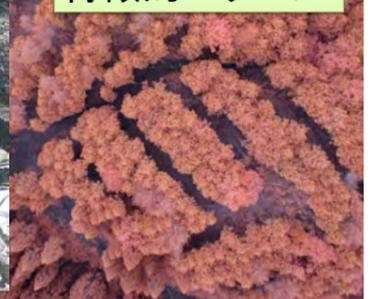
## 森林除染はどこで行われた？

固定翼UAVで可視、近赤外で撮影、除染がどこで行われたかがよくわかる。



佐須滑、2013年9月7日

除染作業後の特徴的パターン



問い合わせ: 本多: [hondak@isc.chubu.ac.jp](mailto:hondak@isc.chubu.ac.jp)、溝口: [amizo@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:amizo@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp)  
<http://tesla2.isc.chubu.ac.jp/uavmosaics/iitate.html>

